

県新人出場校剣道部顧問 様

愛媛県中学校体育連盟
剣道専門部長 富永 洋平

愛媛県中学校新人大会におけるグランドルール

1 大会運営について

本大会は愛媛県中学校体育連盟主催大会実施上の新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインに準じて行う。

※【資料01】愛媛県中学校体育連盟主催大会実施上の新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインを参照

2 試合について

(1) 試合は、全日本剣道連盟剣道試合・審判規則並びに細則、暫定的な試合・審判法及び日本中体連剣道競技部申し合わせ事項によって行う。

(2) 選手は試合および練習において「面マスク」着用を必須とし、面内に装着する「シールド」着用を必須とする。 ※「面マスク」はマスクであればどのようなものでも構わない。

(3) 試合は1日目の個人戦、2日目の団体戦ともにトーナメント方式で行い、試合時間は3分とする。団体戦は、延長を行わない。勝者数、本数ともに同数の場合は代表者戦を行う。個人戦は勝敗が決しない場合は2分ごとの延長戦を、勝敗の決するまで行う。(以下参照)

試合時間3分⇒延長2分⇒延長2分⇒【小休止（深呼吸をする程度）】

⇒延長2分⇒延長2分⇒【面を外しての休息・給水（3分）】

⇒延長2分⇒延長2分⇒【小休止（深呼吸をする程度）】

⇒延長2分⇒延長2分⇒【面を外しての休息・給水（3分）】⇒試合の続く限り繰り返す

また、試合途中でも体調不良を感じた「本人」、あるいは競技者の様子に異変を感じた「監督」は、主審に対して試合の中断を申し出ることができる。その場合、状況に応じて面を外し水分補給ができる。

(4) 選手は、鏝競り合いをしない試合を心がけさせる。やむを得ず鏝競り合いとなった場合はただちに分かれるか引き技を出す。「鏝競り合いの解消」とは、お互いに間合いを完全に切る。(竹刀が交わらない距離)

3 大会参加の可否について

(1) 当日、選手、応援生徒、役員、監督、引率、審判員、応援者（保護者）（以下大会関係者）は検温をし、アルコール消毒を行い、終日マスクを着用する。

(2) 大会当日までの2週間間に体調を崩した選手、応援生徒は、医療機関を受診し、参加可否について医師の確認をとり、本人と保護者の意向を確認し、保護者の判断で大会参加の可否を決定する。

(3) 選手・監督・引率の変更は全国大会に準じて申込書提出後の変更は認めないが、新型コロナウイルス関連の理由のみ特別に変更を認める。変更する際は、愛媛県中学校体育連盟の変更届に必要事項を記入し、試合当日の受付時に提出する。 ※【資料02】変更届を参照

4 練習について

(1) 前日練習について

① 11月12日（金）の16～18時まで大競技場および柔剣道場を練習会場として開放する。

② 前日練習を行う学校は学校同行者体調記録表を提出する。

③ 送迎をする保護者の観覧は認めるが、学校同行者体調記録表に必要事項を記入すること。

(2) 練習時間は、次のように変更をする。

① 1日目は9時30分～10時30分までとする。時差受付のため、9時30分より前に大競技場および柔剣道場での練習は禁止とする。10時30分以降は柔剣道場のみ練習会場として開放する。ただし、1日目の個人戦終了後は大競技場および柔剣道場での練習は禁止とする。

② 2日目は8時50分～9時50分までとする。時差受付のため、8時50分より前に大競技場および柔剣道

場での練習は禁止とする。9時50分以降は柔剣道場のみ練習会場として開放する。ただし、団体戦終了後は大競技場および柔剣道場での練習は禁止とする。

5 入場制限について

(1) 出場選手について

- ① 大会1日目は個人戦出場者のみ入館を可能とする。
- ② 大会2日目は団体戦出場者（補員を含む）のみ入館を可能とする。

(2) 帯同選手について

- ① 1日目（個人戦）は帯同選手をつけることができる。その場合は次の通りとする。
 - ・男子個人戦に1名のみ出場する場合、帯同選手を1名つけることができる。
 - ・女子個人戦に1名のみ出場する場合、帯同選手を1名つけることができる。※男子個人戦と女子個人戦に1名ずつ出場する場合は、帯同選手を1名ずつつけることができる。
- ② 帯同選手についての注意事項は以下の通りとする。
 - ・出場選手が奇数人数で、偶数人数にするための帯同選手は認めない。
 - ・帯同選手の学年は問わない。
 - ・2日目（団体戦）は帯同選手をつけることができない。

(3) 応援生徒について

- ① 1日目（個人戦）の応援者は出場選手（帯同選手を含む）・出場選手の保護者・教職員のみとする。
※ただし、帯同選手の保護者の応援は認めない。
- ② 2日目（団体戦）の応援者は出場選手（補員を含む）・出場選手以外の2年生（応援生徒）・出場選手保護者・教職員のみとする。

(4) 応援者（保護者）について

- ① 出場選手1名につき1名までの応援者（保護者）は認める。
- ② 応援生徒（2年生）の保護者の入館は認めない。
※応援者は保護者のみとする。この場合の保護者は同居している家族のことを示す。
※応援者は当日受付に提出した名簿に記載している者のみとする。途中で入れ替わる等の行為は禁止とする。
- ③ 保護者以外の応援者は入館することができない。

6 観客席について

- (1) 観客席は東予・中予・南予の3ブロックに割り振る。
- (2) 座席や通路に荷物等を置いて場所取りをする行為は禁止とする。見つけた場合は撤去する。
- (3) 出場選手・帯同選手・顧問及び部活動指導員等の剣道用具及び貴重品は必ず持ち帰ること。
※マナーが悪い学校は選手及び監督に指導をする。
※敗退が決定したり、試合開始まで時間があつたりする場合は、退館し、密を避けるよう心がけ、譲り合って観戦をすること。
※【資料03】剣道競技会場図及び導線を参照

7 大会当日までにすること

- (1) 選手、応援生徒、監督、引率者の2週間分の体調記録表を記録し、各校で保管すること。
- (2) 学校同行者体調記録表に必要事項を記入し、受付に提出すること。
※2日間ともに出場する場合はそれぞれ1枚（個人戦用と団体戦用）必要になる。
- (3) 選手および応援生徒の、大会参加同意書に必要事項を記入し、各校で保管すること。
- (4) 観戦する応援者（保護者）に来場者体調記録表、県新人応援者申請書、県新人応援者許可証を配布し、来場者体調記録表と県新人応援者許可証については受付に提出できるようにしておく。また、応援者（保護者）一覧名簿に必要事項を記入し、受付に提出できるようにしておく。

※【資料04】体調記録表，【資料05】学校同行者体調記録表（個人・団体），【資料06】大会参加同意書
【資料07】来場者体調記録表，【資料08】県新人応援者申請書，【資料09】県新人応援者許可証
【資料10】応援者（保護者）一覧名簿を参照

8 受付について（試合開始までの流れ）

- (1) 開場時間は8時00分とする。1階正面入り口から会場に入ること。入口にて手指消毒と検温等を行い、受付を行う。
- (2) 1日目の選手受付時間は、8時10分～南予、8時20分～中予、8時35分～東予の順で受付を行う。
1日目の保護者受付時間は、10時00分～南予、10時15分～中予、10時30分～東予の順で受付を行う。
2日目の選手受付時間は、8時10分～南予、8時20分～東予、8時30分～中予の順で受付を行う。
2日目の保護者受付時間は、9時00分～南予、9時15分～中予、9時30分～東予の順で受付を行う。
※体育館周辺の駐車場は役員・審判員専用とし、その他は河川敷に駐車してください。
- (3) 選手と応援生徒がまとまって受付を行い、その後応援者（保護者）がまとまって受付を行うこと。
※大会当日、交通状況等で受付時間に間に合わない場合は、大会本部に連絡すること。
- (4) 審判監督会議は、1日目は9時30分から、2日目は9時00分から行う。

9 竹刀検量について

- (1) 出場選手が竹刀検量所に提出できる竹刀の本数は、1人3本までとする。
- (2) 竹刀検量所に提出する竹刀は所有者が提出する。（柄革に学校名と氏名を書いていることを確認）
- (3) 検量に合格しなかった竹刀は本部で終日預かる場合がある。その竹刀は試合終了後に本部まで取りに来る。
- (4) 1日目の竹刀検量時間は8時20分～南予、8時35分～中予、8時50分～東予の順で行う。
※検量時間は9時20分までとする。
2日目の竹刀検量時間は9時30分までとする。
※稽古中や試合中にシールが剥がれた場合は本部にて再度検量を行う。

10 開閉会式について

- (1) 開会式は行わず、開会行事として開会宣言、試合場の注意、事務連絡のみとし、審判員は審判席で、出場選手等は観客席で待機をする。
- (2) 1日目の個人戦終了後、閉会式は行わず、閉会行事として結果発表及び表彰のみを行う。個人戦入賞者（ベスト4以上）は間隔を開けて整列する。
- (3) 2日目の開会式も行わず、直ちに団体戦のトーナメント戦を開始する。
- (4) 2日目の団体戦終了後、閉会式は行わず、閉会行事として結果発表及び表彰、閉会宣言、事務連絡のみとする。結果発表のときは、団体戦入賞校（ベスト4以上）は間隔を開けて整列する。
- (5) 終了予定時刻は、1日目は15時、2日目は14時とする。

11 その他

- (1) 大会関係者は終日マスクを着用し、密集と密接を避け、私語を慎む等、「新しい生活様式」を意識する。
- (2) 選手、応援生徒は熱中症に配慮しこまめな水分補給に努める。
- (3) 大会関係者は手洗い・手指消毒に努める。手洗いの際は、個人のハンカチ等を用いる。
- (4) 本大会におけるグラウンドルールは新型コロナウイルス感染状況に応じて内容が一部変更する場合がある。